



エントリーシート 測定結果

n

様

|| タイトル ||
自己紹介

■ 文章表現力 73 点

■ 文章の書き方テクニック 91 点

■ 文章での主張力 64 点

■ 総合得点 76 点

1センテンス(書き始めから句点「。」までの一文)が長く書かれているセンテンスがあるようです。1センテンスの文字の数は40文字以内で書くように心掛けましょう。語調について、語尾が統一されていないようです。「ですます調」で書かれている中に、「である調」もしくは「体言止め」も存在しているようです。「ですます調」に統一するようにしましょう。

あなたの書いた文章で測定されている内容は

- 1 あなたが文章の中で、言いたい事柄、主張したい事柄(キーワード)が相手に伝わるように書かれているかどうか。
- 2 「～の事」の「事」、「～の為」の「為」などの言葉が、意味もなく何となく使われ、書く時の癖になっていないかどうか。
- 3 1センテンス(書き始めから句点「。」までの一文)が長すぎて、意味が読み取り難い文になっていないかどうか。
- 4 基本となる16項目の測定値が適正值(理想値)よりもかけ離れ、バランスの取れていない文章の構成になっていないかどうか。
- 5 やたらと漢字が多い、もしくは、ひらがなが多い文章になっていないかどうか。接続詞、指示語、副詞などの単語が多く使われている為に、文章全体で意味が読み取り難い構成になっていないかどうか。

の5つが大きなポイントです

※ エントリーシートで書かれた文章は、「文道(文章分析システム)」で測定されています。

1 あなたの書いた文章の キーワード群

あなたが”文章の中で特に言いたい事柄を複数の単語で示したものをキーワード群”としています。相手に伝わるような文章にするには、使われた単語の総数の約4%の単語がキーワードとして書かれているのが望ましい文章となります。

《掲載は10単語》

文章 組織 複数 人 発揮する 能力

※形容詞と動詞は終止形で掲載されます。

▼文章全体の文字の総数は	674	文字
▼あなたが使った単語の数は	145	単語
▼あなたのキーワード数は	6	単語
▼望ましいキーワード数は	5	単語

チェック

上記の欄にキーワード群が掲載されます。あなたのキーワード群の数と、望ましいキーワード群の数を比較して下さい。単語の数が違い過ぎたら望ましいキーワード群の数を目指すようにしましょう！

2 あなたの書いた文章の中で 癖になっている言葉

癖になるのは、あなたにとって表現し易いからです。それらの単語は、伝えたい相手に対して曖昧さを大きくしてしまいます。もし”癖になっている単語を、その文章の中で適切な単語に書き換えた」とすると、文章全体の意味がもっとはっきり”してきます。

※形容詞と動詞は終止形で掲載されます。

チェック

左記の欄に癖になっている言葉が掲載されている場合は、できるだけ無くすようにしましょう！また、違う言葉で書き換えるようにしましょう！

3 あなたの書いた文章の 長すぎるセンテンス

文章には短い文も、長い文もありますが、あまりにも1センテンス(一文)が長すぎると意味が読み取り難しくなります。逆に短すぎる文ばかりでも、文章は簡潔になり歯切れは良いですが、意味が単純になり、気持ちが表れ難しくなります。読みやすく、”相手に伝わりやすい1センテンス(一文)の文字数は40文字が適正”となります。

▼センテンスの数は	18	センテンス
▼最も長く書かれたセンテンスの文字数は	79	文字
▼60文字以上で書かれたセンテンス数は	2	センテンス

チェック

下記に文章がある場合は、あなたの書いた長すぎたセンテンスです。

1センテンスは、40文字以内で書くようにしましょう！

無ければOKです！

- 考える道具の一つとして文章分析、考える下敷きとして、「現在の中の未来、正と負、複数の事実、ポジション、複数の視点、ベクトル、意識向き、時間軸」などを用います。

—文字数は79文字でした。—

- 主要要素を上げるとコミュニケーション、マネジメント、リーダーシップ、目標設定、コンピテンシーモデル、キャリアデザインなどになります。

—文字数は66文字でした。—

4 あなたの書いた文章の
基本測定項目のバラ

基本となる測定項目は16種類あり、測定値は0.0～10.0まであります。基準となる理想的な適正值は5.0で、この値を中心にして許容範囲の測定値は4.5～5.5になります。測定値が”5.5より大きくなると、こだわりが強かったり、しつこい表現”の文章となり、”4.5より小さくなると意味が曖昧”になっている文章となります。

▼許容範囲(4.5～5.5)より外れていた項目は

テーマ設定力	主張構成力	主張補足力	の 3項目 でした。
--------	-------	-------	------------

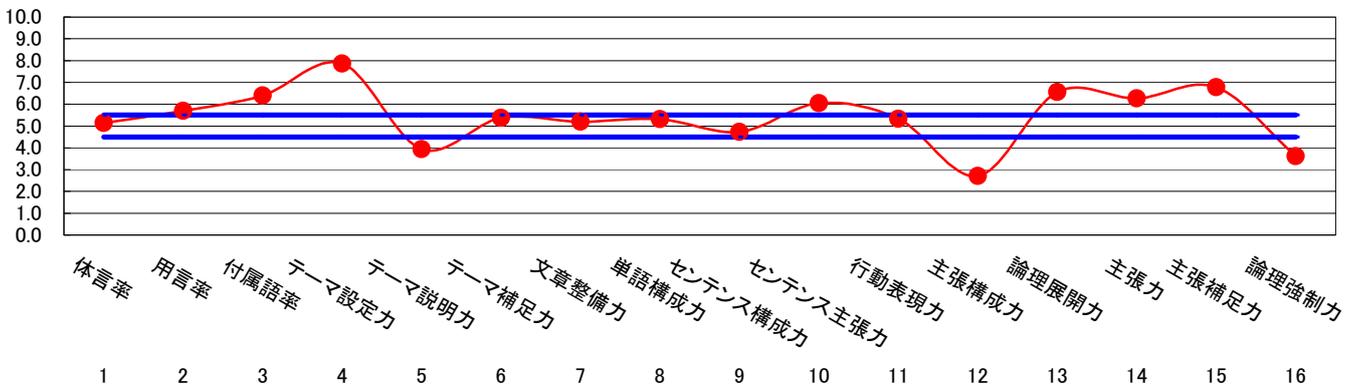
これらの項目の測定値を適正值5.0に近づけるための改善策は！

チェック

※この改善策では、日頃の会話の習慣を改善する事でも、文章表現が身に付きやすくなるようにしています。

- テーマ設定力**
言いたい事を、はっきりと決めてしまう事が大切です。そして、言いたい事を、複数の単語に置き換えましょう。文章を書いた時の文字量(文字数)が1000文字だとすると、言いたい事を表す単語の数は、5、6単語です。この数は表現したい文体(論文、エッセイ、小説)によって違っていますが、およそ、5、6単語を目標にしてください。言いたい事の単語を複数挙げてみて、その単語から、1、2単語減らすようにしましょう。あれも、これもと伝えたい事を欲張りすぎずに、相手に丁寧に話すように心掛けましょう。
- 主張構成力**
見たもの、聞いたものなどを単純に理解し、表現しないで、その理由をよく考えて表現するようにしましょう。言いたい事を、一方面だけでとらえるのではなく、別の見方や考え方がないか、考える習慣を付けましょう。あるものを見て「これは、何々である」と言った後で、「他の見方はないか」と自問自答してみる事です。そして、その自問自答した時の中心になる単語をしっかりと記憶に残して下さい。表現する時、他にも言うべき材料がないかを考えるようにしましょう。
- 主張補足力**
改善する為の特別な方法は、見つかっていません。単語の意味について、自分なりの意味をしっかりと持っている改善されていきます。自分なりの意味をしっかりと持っている単語をできるだけ増やすようにしましょう。言いたい事を表している、一番大切な単語の意味がしっかりとしていると、良い結果が出てきます。単語の意味を、もっと深く考えるようにしてみましょう。

縦軸:測定値 横軸:基本測定項目(16項目)



基本測定項目	測定値	測定内容
1 体言率	5.1	文章で使われている全体の単語に対しての名詞、副詞の割合を示しています。
2 用言率	5.7	文章で使われている全体の単語に対しての動詞、形容詞の割合を示しています。
3 付属語率	6.4	文章で使われている全体の単語に対しての助詞、助動詞の割合を示しています。
4 テーマ設定力	7.9	言いたいことを単語に置き換えたときの単語群を表しています。
5 テーマ説明力	3.9	言いたいことの説明、論証を補強する単語群を示しています。
6 テーマ補足力	5.4	言いたいことの根拠、原因、理由などの具体的な例を示しています。
7 文章整備力	5.2	文章表現の基本で全体の文字量に対しての意味のある単語の割合を示しています。
8 単語構成力	5.3	使われている意味のある単語の重複率を示しています。
9 センテンス構成力	4.7	センテンス全体の文字数の平均を表し、1センテンスで言いたいことの強さを示しています。
10 センテンス主張力	6.0	最も言いたいことを表現した1センテンス(一文)の主張の強さを示しています。
11 行動表現力	5.3	1センテンス(一文)で表現されている、行動を表している単語の出現率を示しています。
12 主張構成力	2.7	言いたいことを構成している単語量からの主張の複雑さを示しています。
13 論理展開力	6.6	言いたいことを伝達するときの分り易さ、丁寧さを示しています。
14 主張力	6.3	文章の中で、最も中心になっている単語の強さを示しています。
15 主張補足力	6.8	言いたいことの特徴を表している単語の集まりの強さを示しています。
16 論理強制力	3.6	言いたいことを相手に説得しようとする姿勢の強さ、丁寧さを示しています。

5 あなたの書いた文章の
表現テクニック

表現テクニックでは、ひらがなで多く書かれていないかどうか、書かれた全単語数を基準に接続詞、指示語、副詞等の言葉が適度な数で使われているかどうか、などを測定しています。”改善内容の、「↑」もしくは「↓」の箇所を直すことで、文章の表現技術が改善”されます。”「○」の場合は適切な使い方”をしています。

※「↑」は、適正值よりも、あなたの測定値が大きい場合、「↓」は、小さい場合を示します。

改善項目	適正值	測定値	改善内容
センテンスの文字数平均	40	37	○ 適切な文字数になっています。
ひらがな率	1.3	1.3	○ 漢字とひらがなはバランス良く使われています。

◆ センテンスの文字数平均は、全センテンス数の文字数を平均したセンテンス(一文)の文字数です。

◆ ひらがな率は、漢字とひらがなの割合で、適正值1.3より測定値が大きいと、ひらがなが多く使われている文章となります。

※「↑」は、理想的な使用比率よりもあなたの使用比率が大きい場合(書き過ぎている)、「↓」は、小さい場合(書き足りない)を示します。

改善項目	理想的な使用比率	あなたの使用比率	改善内容
名詞カウント率	60.0%	68.0%	↑ 名詞が多く使われているのでもっと減らすようにしましょう。
用言カウント率	28.0%	28.2%	○ 動詞・形容詞は全単語数に対し適度な数で使われています。
推量語カウント率	1.0%	0.0%	○ 推量の単語は全単語数に対し適度な数で使われています。
否定語カウント率	3.0%	1.5%	○ 否定的な単語は全単語数に対し適度な数で使われています。
接続詞カウント率	1.0%	1.5%	↑ 接続詞を使い過ぎています。不要な接続詞を減らすようにしましょう。
指示語カウント率	1.4%	0.5%	○ 指示語は全単語数に対し適度な数で使われています。
副詞カウント率	2.5%	0.5%	○ 副詞は全単語数に対し適度な数で使われています。

- ・名詞カウント率 : 普通名詞(テレビ/携帯電話/幸せなど)の使われた割合
- ・用言カウント率 : 動詞(動く/食べるなど)、形容詞(楽しい/辛いなど)の使われた割合
- ・推量語カウント率 : 推量(「～のように(な)」、「～らしい」など)の使われた割合
- ・否定語カウント率 : 否定的な言葉(話さない/食べないなど)の使われた割合
- ・接続詞カウント率 : 接続詞(そして/また/しかしなど)の使われた割合
- ・指示語カウント率 : 指示語(これ/それ/あれ/どれなど)の使われた割合
- ・副詞カウント率 : 副詞(全然/やはり/時々/もっとなど)の使われた割合

チェック

接続詞率、指示語率、副詞率の改善内容が「↑」になるのは、必要のないところで接続詞や指示語、副詞を使って書いているためです。減らせるところを検討してみましょう!

あなたの書いた文章の人間スタイル診断結果

対人性から主張性までの6項目を、それぞれ3種類から5種類のスタイルで診断しています。あなたが該当しなかった人間スタイルの詳細は http://seedwin.co.jp/man_style_det.html よりご覧ください。

対人性	惹き付け型	相手に対して、自分の魅力を表現しようとする特徴があります。人間関係をより良い方向に持っていくとしがちです。
論理性	対応型	言いたい事のポイントは掴んでいますが、その説明が足りなく、例を挙げて説得しようとする傾向があります。
表現性	伝達型	言葉の使い方は適切で、相手にも分かり易く伝えようとする傾向があります。
強調性	力み型	強く表現している言葉が目立ち、全体的にバランスの取りにくい表現になりがちです。
思考性	集中型	物事に関わる事柄を出来るだけ多く取り出して、その全体を表現しがちです。
主張性	論証型	最も言いたい事が強くなって、相手を説得しようとする姿勢が甘くなってしまう傾向があります。

あなたの書いた文章の適性診断結果

